

平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業

「第4回在宅医療における多職種連携研修会」

テーマ：『頼りになるキーパーソンがいない患者（利用者）の事例』

発表者：那覇偕生園ケアプランセンター 介護支援専門員 新城 泉 氏

講師：ゆいま〜る法律事務所 弁護士 寺田 明弘 氏

※ 参加者アンケートの集計結果は別紙をご参照ください。

○日 時：平成30年11月16日（金） 午後7時30分～9時00分

○場 所：那覇市医師会・4階ホール

○参加者：124名

（医師8名、看護師23名、保健師4名、MSW4名、介護支援専門員47名、リハビリ12名、薬剤師6名、栄養士2名、社会福祉士8名、その他10名）



司会：嘉数 朗 氏



講師：寺田 明弘 氏



ミニレクチャーの様子



多職種連携研修会 全体風景



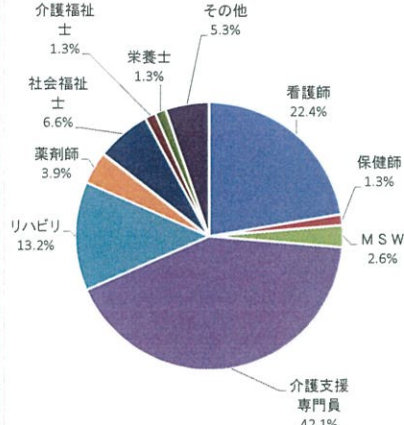
平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
第4回在宅医療における多職種連携研修会アンケート集計結果

日時:平成30年11月16日(金) 午後7時30分～9時00分
場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:124名
回答者:72名
回収率:58.1%

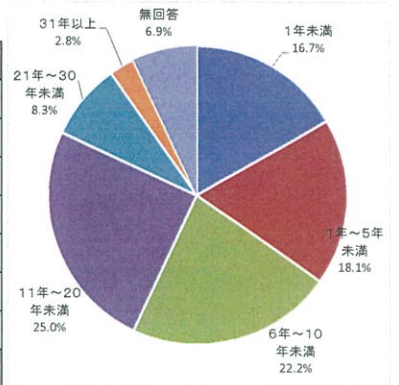
アンケート回答者の職種

| 職種 | 人数 | 割合 |
|---------|----|--------|
| 看護師 | 17 | 22.4% |
| 保健師 | 1 | 1.3% |
| MSW | 2 | 2.6% |
| 介護支援専門員 | 32 | 42.1% |
| リハビリ | 10 | 13.2% |
| 薬剤師 | 3 | 3.9% |
| 社会福祉士 | 5 | 6.6% |
| 介護福祉士 | 1 | 1.3% |
| 栄養士 | 1 | 1.3% |
| その他 | 4 | 5.3% |
| 合計 | 76 | 100.0% |



アンケート回答者の経験年数

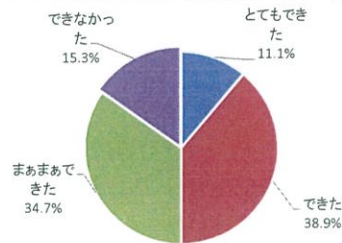
| 経験年数 | 人数 | 割合 |
|-----------|----|--------|
| 1年未満 | 12 | 16.7% |
| 1年～5年未満 | 13 | 18.1% |
| 6年～10年未満 | 16 | 22.2% |
| 11年～20年未満 | 18 | 25.0% |
| 21年～30年未満 | 6 | 8.3% |
| 31年以上 | 2 | 2.8% |
| 無回答 | 5 | 6.9% |
| 合計 | 72 | 100.0% |



※職種の複数回答により、回答数と相違あり。

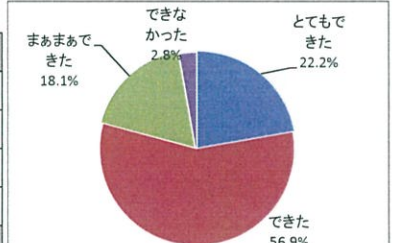
①ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|---------|----|--------|
| とてもできた | 8 | 11.1% |
| できた | 28 | 38.9% |
| まあまあできた | 25 | 34.7% |
| できなかった | 11 | 15.3% |
| 合計 | 72 | 100.0% |



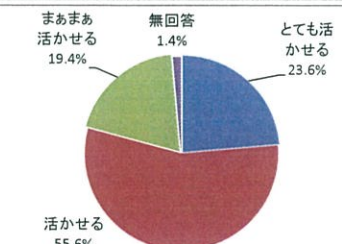
②多職種の状況を理解することができましたか。

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|---------|----|--------|
| とてもできた | 16 | 22.2% |
| できた | 41 | 56.9% |
| まあまあできた | 13 | 18.1% |
| できなかった | 2 | 2.8% |
| 合計 | 72 | 100.0% |



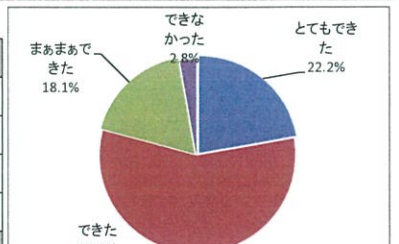
③明日からの業務に活かしますか。

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|----------|----|--------|
| とても活かせる | 17 | 23.6% |
| 活かせる | 40 | 55.6% |
| まあまあ活かせる | 14 | 19.4% |
| 無回答 | 1 | 1.4% |
| 合計 | 72 | 100.0% |



④多職種連携研修会の内容についてのご意見・ご感想。

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|---------|----|--------|
| とてもできた | 16 | 22.2% |
| できた | 41 | 56.9% |
| まあまあできた | 13 | 18.1% |
| できなかった | 2 | 2.8% |
| 合計 | 72 | 100.0% |



- ・ 成年後見制度やK P のいない人との関わり方が参考になった。
- ・ ケアマネとして経験がまだ浅いためこのようなケースが結構頻繁に起こっているという話を聞いてビックリした。
- ・ 代理決定権などケアマネにないことは知っていたが、本日の研修会で学びがたくさんあった。
- ・ 急性期病院に勤めているので転帰先までは決めても、その後の生活は知らなかったので実際に生活の場で関わっている職種の方の意見が聞いて大変勉強になった。
- ・ 在宅経験も浅いのでケアマネの役割がどこまでか難しかった。
- ・ ケアマネの役割があまり知られていないと感じた。
- ・ 業務に関する理解が職種によって異なることが分かった。

- ・ やはり基本には本人の尊厳をどれだけ理解して代弁できるのかという大きな枠組みで考えると学校でも伝えることができる。
- ・ 視点が広がった。今まで頼ってばかりだったので幅を広げたい。
- ・ 様々な職種の立場の意見が聞いて勉強になった。知識も増えた。
- ・ 事例担当のケースを持つことが多いケアマネ・プランナーの話が中心で医療従事者からの意見が少なかった。
- ・ 訪問看護ご利用者にも身寄りがない方、K P がいない方もいるので、今後も起こりうる身近な問題なので勉強になった。
- ・ 現在近い事例を受け持っているので今後のアイデアにつながった。
- ・ ケアマネがどこまでやればいいのか、どこまでできるのかをきちんと伝える必要があると感じた。

平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
第4回在宅医療における多職種連携研修会アンケート集計結果

日時:平成30年11月16日(金) 午後7時30分～9時00分
場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:124名
回答者:72名
回収率:58.1%

⑤テーマ:『頼りになるキーパーソンがいない患者(利用者)の事例』について 発表者:新城 泉 氏

- ・ケアマネとして関わる中で大変さや他職種や病院側の理解がもっと必要なのだと感じた。
 - ・ケース担当になったことがよくあり、色々な背景、人との関わりなどで調整や情報収集も難しいこともあると思う。
 - ・ケアマネのできることで、できないことについて改めて考えさせられた。今関わっている利用者さんのことも色々と思い起こした。
 - ・身につまされる話で明日は我が身だと感じた。
 - ・ケアマネへの負担が大きいと感じた。他にも相談できる人はいなかったのでしょうか。断わるテクニックも必要だと感じた。
 - ・ケアマネの日頃の業務の多忙さ(仕事の広さ)が垣間見れた。医療側の無理な要望も少なくないのではと感じた。
 - ・ケアマネ側の課題、病院側の課題が浮き彫りになった事例でお互いの理解が必要だと感じた。十分な情報収集も必要だと感じた。
- ケアマネからのアプローチも大切な役割だと気付かされた。
- ・ケアマネの負担は大きいと思うが、自身の身を守るためにもケアマネとしての役割をハッキリ説明できるとういのはと思った。
 - ・医療と在宅の立場や役割にギャップを感じた。もっと意見交換の場(機会)が必要だと感じた。
 - ・独居、K Pがいないという時点で予め緊急時対応についてご本人と意志確認について話をつめておいた方が良かったと思った。
 - ・ご本人の意志が無視されているように感じた。第一にご本人の思いに寄り添いたいと思った。
 - ・病院や法制度という大きな対象へ課題を投ずる良い事例で大変勉強になった。
 - ・K Pがいない方の入院時、困ったらケアマネに連絡することがあるので、ケアマネの本来の業務について考えなければならない。
 - ・独居高齢者のケアプランの中に緊急時、災害対策を盛り込むことが大切だと思った。

⑥演題:『頼りになるキーパーソンがいないケース』について 講師:寺田 明弘 氏(ゆいま～る法律事務所)

- ・法制度の問題と併せて知ることができたので大変勉強になった。同意を得る大切さや重要性を知れて安心感につながった。
- ・家族でもあまり本人を知らない人が同意をしても違うと思った。本人の背景を知っていて本人らしさを伝えることが大切だと感じた。
- ・リスク管理について改めて認識できた。寺田弁護士体験された話(ホスピス時代)も興味深かった。
- ・法的にケアマネとしての役割(できること)が理解でき、また分かりやすく解説していただいて良かった。
- ・医療行為の同意権について現状の動きが分かって勉強になった。今後もこういった専門的な弁護士などを交えて会を進めてほしい。
- ・身元引受人、身元保証人ができる厚労省の通達が知りたい。
- ・事業所内で話し合いを重ね、今後のサービス支援とリスクについて考えていきたい。
- ・身元保証人がいない人の場合まだまだ法的に問題がある。もっと法改正が必要だと思った。
- ・医療行為の判断を病院側がすることにリスクがあるということに考えさせられた。身寄りがない方の医療行為は病院の倫理委員会に任せれば良いと今まで思っていたので。
- ・「サービスで活動を広げた場合、同時にリスクも広げていることも意識」という点を肝に銘じておこうと思った。
- ・いつもの研修会の結論は「法制度の整備を願う」という形で終わるが、今回は具体的に提示をいただき本当に勉強になった。
- ・緊急時は同意がなくても良い可能性があることを知られて良かった。

⑦今後、どのようなプログラム(テーマ)があったら参加したいと思いますか？

- ・頼りになるキーパーソンがいないケースで、退院後の生活支援など違うケースで聞いてみたい。
- ・今回のように弁護士さんなどの専門家による事例(リスクマネジメント的な医療安全管理を学べる機会)をやってほしい。
- ・独居(または日中独居)、神経難病の方への支援
- ・医療分野が介護分野に求めるもの、求めること
- ・がんの親をもつ子供へのアプローチや家族支援
- ・病院へ行きたくない方への対応
- ・介護保険分野 ・ACP ・包括ケアシステム ・入院～退院～退院後の経過のケーススタディ ・精神科の独居の対応など

⑧その他、今回の多職種連携研修会全体を通して、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・今後も身寄りのない独居者が増えていくので、色々な事例を持ち寄り情報共有して一緒に考えていくことは有意義だと思う。
- ・ケアマネ、病院、地域の課題を知ることができ、考えさせられた。今後もこのような専門的立場からのミニレクチャーを続けてほしい。
- ・意思決定支援を多職種で連携して関わっていかないといけないと改めて感じた。
- ・まだまだ病院にケアマネの役割・責任が周知できていないのはどうしてだろうか。